

「ハンドベル」演奏体験が社会人生活におよぼす影響

The Effect of Playing Handbells on College Students' Social Lives after Graduation

岡田 泰子
Yasuko OKADA

抄録：本学在学中にハンドベル演奏を体験して卒業した学生の社会人生活に、その体験がどのような影響をもたらしているかについて調べた。調査としては体験したハンドベル演奏についての感想を自由に書いてもらった。その結果、ハンドベル演奏体験は、社会人生活の様々な局面において「協力・協調」、「達成感」、「責任感」、「集団における役割」、「一体感」などの言葉で表されるように、特に行動的側面に著しい影響を及ぼすことが明らかとなった。これらのことはハンドベル演奏体験により学生自身どのように変容したかについて調べた先行研究で明らかにした「他者への配慮」などが卒業後においても脈々と継続していると考えた。また、卒業後もハンドベル演奏体験の機会を得ていること、職場においてハンドベル指導を経験する卒業生が存在することも明らかとなった。

キーワード：ハンドベル、演奏体験、指導体験、卒業生、社会人生活、行動的側面

I. はじめに

先の報告では、大学短期大学部に在籍する2年生を対象として、ハンドベルの演奏体験による自己変容について検討した(岡田, 2014)。その結果「ハンドベルの技能」、「音楽的技能」、「身体的能力」、「他者への配慮」、「音楽的興味関心」や「自分の行動特性」が変容したとする結果がえられた。なかでも「他者への配慮」では、「仲間」、「協力」や「協調性」などのキーワードが抽出された。このようなキーワードが抽出されたことは、ハンドベルは通常ひとりでの演奏が成立しない楽器である特性の影響であると考えられた。また、「ハンドベル演奏の継続参加について」の調査(岡田, 2014)によれば、卒業後ハンドベル演奏を続けることは物理的には困難であることも考えられるが、可能であれば社会人生活においても続けたいと報告されている。そこで本研究でも在学中のハンドベル演奏体験が卒業後の生活においてどのような影響がみられたかについて調査することにした。

II. 方 法

調査協力者 中部学院大学および短期大学部に在籍中、授業(ゼミナール・総合表現活動)及びサークル活動において、ハンドベル演奏を体験した本学卒業生50名を調査の協力者とした。

調査期日 調査は2015年8月17日から2015年9月30日に実施した。

調査内容 調査は、①在学中の所属②本学卒業年及び年齢③現在の状況④在学中のハンドベル演奏体験の場(ゼミ、授業、サークルなど)⑤卒業後のハンドベル演奏体験の有無(ミュージックベル・トーンチャイムを含む)と演奏体験の場所⑥卒業後のハンドベル演奏の指導の有無(ミュージックベル・トーンチャイムを含む)と指導経験の場所について回答を求めた。さらに⑦在学中のハンドベル演奏体験を振り返ってみた感想を自由に書くように求めた。

調査の手順 調査用紙と返送用封筒を同封して、郵送により各協力者に送付した。回答された調査用紙は同封の返送用封筒に封入後、返送され、回収した。

倫理的配慮 この調査に関して、調査用紙発送の前に本調査への協力を求めた。その際、協力については強制でなく、当該者の自由である旨を説明した。なお当該者が特定できないよう、また不利益が生じないように配慮することを伝えた。最終的には調査用紙の返送をもって当該者の調査協力の意思を確認したこととした。

III. 結果と考察

1. 回答協力者の現況

調査協力者への調査用紙郵送数は50名であったが、返

送された調査用紙は44名分で、回収率は88%となった。

1) 在学中の所属

大学が8名、短期大学部が36名であった。短期大学部36名のうち32名は幼児教育学科卒業生であった。

2) 年齢

回答協力者の66%が20代で、30代が20%、40代が14%であった。

表1 回答協力者の年代別人数

| 年代 | 20代 | 30代 | 40代 |
|-------|---------|-------|-------|
| 人数(%) | 29名(66) | 9(20) | 6(14) |

3) 現況

保育園・幼稚園に勤務する回答協力者が23名で最も多く、主婦は6名であった(表2)。

表2 回答協力者の勤務先

| 勤務先 | 人数 |
|-------------------|-----|
| 保育園・幼稚園 | 23名 |
| 福祉関連企業 | 3 |
| 障がい者施設 | 2 |
| 老人介護施設 | 2 |
| 児童館 | 1 |
| 発達支援センター | 1 |
| 地域活動支援センター | 1 |
| 社会福祉協議会ことばの教室 | 1 |
| 主婦 | 6 |
| その他(アルバイト・家事手伝い等) | 4 |

4) 在学中のハンドベル演奏体験の場 (複数回答あり)

在学中の演奏体験の場については、授業(総合表現活動)が17名、ゼミが4名、サークルが38名であった。

2. 卒業後のハンドベル演奏体験や指導体験

表3には、卒業後のハンドベル演奏体験の有無を、表4には、卒業後の演奏体験の場について示した。

表3に示されたように52%の卒業生が演奏を行っていた。この結果は、前回の調査結果から見て演奏は難しいのではないかと予想より大幅に演奏体験者が多かった。

表3 卒業後のハンドベル演奏体験の有無

| 演奏体験 | 有り | 無し | 無回答 |
|-------|---------|--------|------|
| 人数(%) | 23名(52) | 20(46) | 1(2) |

表4 卒業後のハンドベル演奏体験の場 (複数回答)

| 演奏体験の場 | 職場 | 友人の結婚式 | 社会人チーム | 無回答 |
|--------|-----------|---------|---------|--------|
| 人数(%) | 19名(65.5) | 5(17.2) | 4(13.8) | 1(3.4) |

中でも、表4に示すように職場での演奏体験が最も多く、しかもその職場の多くは表2の結果から保育園・幼

稚園であると言えそうである。このことから、卒業後も継続してハンドベルの演奏が勤務先との関連では卒業後も継続の可能性が高くなると言えそうである。表4の社会人チームとは年代を越えた卒業生らで構成され、不定期に活動を継続させているチームである。

表5 卒業後のハンドベル指導体験の有無

| 指導体験 | 有り | 無し | 無回答 |
|-------|-----------|----------|--------|
| 人数(%) | 14名(31.8) | 29(65.9) | 1(2.3) |

また、表5に示した卒業後のハンドベル指導体験の有無(ミュージックベル・トーンチャイムを含む)に関する結果によれば、有ると回答した卒業生が44名中の約3分の1の14名であった。

有ると答えた回答者の卒業後のハンドベル指導体験の場は、保育園・幼稚園が全てであった。この14名は幼児教育学科に所属していた。

3. ハンドベル演奏体験の社会生活におよぼす影響

1) KJ法による感想文の分析結果からの検討

回答者44名の在学中のハンドベル演奏体験を振り返って感想を分析対象にした。感想文として書かれた文章から、キーワードとみなされる言葉を選び出し、KJ法を用いて分析した結果から、「ハンドベル演奏技能」「音楽的技能」「音楽的な興味・関心」「自分の行動特性」「他者への配慮」「在学中の記憶」「演奏体験」「指導体験」の8つの項目に分類できた。各分類項目に該当するキーワードの例を表6に示した。また、抽出した各項目別キーワード総数を図1に示した。

表6でみるように、「ハンドベルの技能」は「ハンドベル」もしくは「ベル」という固有名詞について記述されたキーワードである。「音楽的技能」は楽譜を読み取るために必要な、知識や音楽的能力に関連するキーワード、「音楽的な興味・関心」は音楽自体に対する興味・関心に関するキーワード、「自分の行動特性」は集中力や自信などに関するキーワード、「他者への配慮」は自分以外の人との関係に注意を払うことに関連するキーワード、「在学中の記憶」は、学生時代の振り返りに関連するキーワード、「演奏体験」は卒業後のハンドベル演奏体験に関連するキーワード、「指導体験」は卒業後のハンドベル指導に関連するキーワードである。

図1に示したように、各項目別キーワード総数で最も多かったのは、「他者への配慮」であった。抽出したキーワードでは、協調性・周りを見る・協力・仲間・皆・相手・支え・一体感・心を合わせる・思いやり・チームワーク・子どもへの声掛け・集団・つながり・コミュニケーション能力・笑顔など、ハンドベルそのものの演奏に関連する項目ではないことがうかがえる。ハンドベルを通して間接的に培われた学習であったと考えられる。

表6 KJ法により得られたキーワードの分類とその例

| 分類項目 | 抽出されたキーワードの例 |
|-----------|--|
| ハンドベルの技能 | 楽器を知る、楽しさ、面白さ、難しさ、澄んだ音色 |
| 音楽的技能 | 音を聴く、読譜力、リズム感 |
| 音楽的な興味・関心 | 楽しさ、音の大切さ、聴く力、喜び、親しみ |
| 自分の行動特性 | 集中力、責任感、自信、達成感 |
| 他者への配慮 | 協調性、周りを見る、協力、仲間、皆、相手、支え、一体感、集団、心を合わせる、思いやり、チームワーク、子どもへの声かけ、つながり、コミュニケーション能力、笑顔 |
| 在学中の記憶 | 楽しい思い出、充実した思い出、友人との出会い、先生、ハンドベルが好き、サークルに入ってよかった、様々な場所での演奏、感動、感謝、成長 |
| 卒業後の演奏体験 | 友人への結婚式、保護者 |
| 卒業後の指導体験 | 仕事に活かしている |

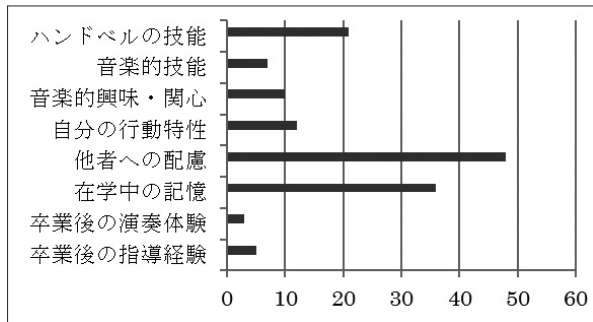


図1 ハンドベル演奏体験を振り返る感想文から抽出した各分類項目別キーワード総数

2) 感想文による検討

前項では、KJ法によりキーワードから8つの分類項目を抽出した。しかし在学中のハンドベル演奏体験が社会人生活にどのように影響したかを協力者の原文のままの感想文により検討することにした。その際、前項で示した抽出された8つの分類項目を、(1) 音楽的側面(ハンドベル技能、音楽的技能、音楽的な興味・関心)、(2) 行動的側面(自分の行動特性、他者への配慮)、(3) 記念的側面(在学中の記憶)、(4) 社会的側面(卒業後の演奏体験、卒業後の指導体験)の4つ分類項目に再整理した。また感想文は協力者によっては2つ以上の側面に及ぶ例が認められる。その際は2つ以上の感想文に分けた。そのために協力者44名であったが、感想文数は55になった。

(1) 音楽的側面 音楽的側面に関連する感想としては次のような例がみられた。

- 一人ひとりの音で音楽ができていることを実感でき、1つ1つの音を大切に考えることが出来た(20代 授業 保育園勤務)。
 - より音楽を楽しめるようになり、1つ1つの音を大切に感じられるようになった(20代 授業 発達支援センター勤務)。
 - 1人で演奏するピアノも素敵ですが、皆で1音1音をつないで曲にしていくというのもまた素敵だと思いました(30代 サークル活動 保育園勤務)。
 - 子どもたちを見ていて、簡単に演奏できることが魅力のようで、曲が仕上がった時の喜びも皆で感じることもでき、親しみやすい楽器だなあと感じました(40代 サークル活動 児童館勤務)。
 - ミュージックベルを演奏する機会はあったが、ハンドベルを演奏するのは初めてだったので、貴重な体験ができた。低音だとハンドベルが重かったり、リズムを合わせるのが難しかったりと大変なこともたくさんあったが、曲が出来上がっていくのがとても楽しく、経験できてよかったと思う(20代 授業 幼稚園勤務)。
 - 一人では無く、それぞれの呼吸、リズムが合っていないと素敵な演奏が出来ない。皆で一緒に演奏するという事が私にとってとても貴重な体験になりました(20代 サークル活動 保育園勤務)。
 - 同じ楽器の中で、それぞれが違う音を担当するところがやはり一番演奏していて面白いところだと思います。16分音符など細かい音符が噛み合った時の気持ち良さは他楽器の合奏にはないかなと思います。低音が多かったので、もし機会があれば高音でも演奏したいですね(20代 サークル活動・授業・ゼミ 保育園勤務)。
 - ピアノが苦手な演奏するということが苦手意識がありましたが、ハンドベルの授業やサークルを通して、難しいリズムを先輩や友だちに教えてもらうことで音楽に親しみを持つことができました(20代 サークル・授業 幼稚園勤務)。
 - 卒業後、キーボードアンサンブル、電子オルガン、オカリナアンサンブルや子どもたちのアンサンブル指導など、「音」に関しての経験をしてきましたが、他の人が発している音をよく聴く、その上で自分の音を出すという耳は、あの頃養われたような気がします(40代 サークル活動 主婦)。
- 以上のようにハンドベル演奏が他楽器と異なり、上半身全体を使ってリズムがとれることや、限定した音を担当することにより、音とリズムに集中出来る楽器の特徴から、音楽的側面が向上したと推察される。
- (2) 行動的側面 協調性や達成感など行動的側面に触れた感想文としては次のような例がみられた。
- 一人では曲を作り上げることができない楽器なので、仲間と心を合わせることの楽しさを経験できたということが宝物になっています。一緒に経験した仲間や先生と卒業後もずっとつながっていることもとても嬉しいです(30代 サークル活動 幼稚園勤務)。
 - 初めは人数不足の補佐的なもので参加したのだが、どんどん大人数で1曲を作る楽しさに夢中になっていきました(20代 サークル活動・授業 幼稚園勤務)。
 - ハンドベルは仲間がいないと演奏できないので、皆と一緒に演奏できて楽しかったです。また、曲を演奏することで一体感を

- 感じることも出来ました(40代 サークル活動 児童館勤務)。
- ・仲間と協力し合うことや、コツコツ毎日がんばることなど沢山の事を学べたと思います(30代 サークル活動 お寺のお手伝い)。
- ・ハンドベルは本当に協調性が必要になります。仲間と協力することの大切さ、ハンドベルを通して仲間と絆を結ぶことができました。社会では人と協調することは大切です。社会人になるにあたり、マナーや人との協調性を学ぶ事が出来たと感じています(20代 サークル活動 福祉業界勤務)。
- ・集団で活動することについての自分の役割の責任を強く感じましたが、集団活動に必要なこと、大切なことを音楽と共に学ぶことができたと思います(20代 サークル活動 地域活動支援センター勤務)。
- ・みんなで力を合わせて1つの曲を演奏するのがとっても楽しくて達成感がすごくありました。自分でも何かやりとげることができたんだあと今後の自信につながりました(20代 サークル活動 事務)。
- ・自分の納得できる演奏を目指していたあの頃を思い出すと、大変だったと思う時もありますが、その分大きな達成感をえることができました。大学2年という短い時間にハンドベルを通して充実した、かけがえのない2年間にすることができ、ハンドベルをやっていたよかったと実感しています(20代 サークル活動・授業 障がい者施設勤務)。
- ・仕事で悩んでいる時、卒業式で演奏した「未来へ」を聞いています。聞いていると、ハンドベルを必死に練習していた時のことを思い出し、もっと頑張ってみようという気持ちにさせてくれます(20代 サークル活動・授業・ゼミ 障がい者施設勤務)。
- ・ハンドベルの経験を通して、仲間と1つの曲を作り上げる難しさ、責任感、達成感を学ぶことが出来ました。ハンドベルの経験があったからこそ仲間と協力することの重要性、コミュニケーション能力がついたと思います(20代 サークル活動・授業・ゼミ 介護施設勤務)。
- ・自分の持っているベルの責任感を強く感じました。周りにまかせて合わせているばかりでは自分のためにならないし、迷惑をかけることを学びました(20代 サークル活動・授業・ゼミ 社会福祉協議会こたばの教室勤務)。
- ・大学に入って初めてベルに触れ、音階によってベルの大きさがさまざまあることを知り、自分が担当するベルには責任を持ってならすということを味わうことができ、一人一人で音楽を作りあげる達成感を味わえた(20代 サークル活動・授業・ゼミ 保育園勤務)。
- ・皆と一緒に合わせる事の楽しさ、面白さを感じることができました(30代 サークル活動 幼稚園勤務)。
- ・ハンドベルを通して自然と皆がひとつになったことに私は感動の連続でした(40代 サークル活動 幼稚園勤務)。
- ・何度か舞台上で演奏させて頂くことができたので、職場でも大勢の人前で、ピアノを弾く度胸をつけることができた気がします(20代 サークル・授業 幼稚園勤務)。
- ・「ひとりではできない」とても貴重な経験でした(40代 サークル活動 保育園勤務)。
- ・ハンドベルの演奏体験は、とても貴重なものとなりました。仲間と音を奏でる楽しさ、任されたパートをこなす責任感な

ど色々なことが学べました(20代 サークル活動 養護老人ホーム)。

- ・音符を読めなくても演奏できる、でも演奏者が同じ方向を向いて同じ気持ちで集中して演奏しなければ曲にならないあの体験は本当に貴重なものでした(40代 サークル活動 主婦)。
- ・ハンドベルで大切なことを学ぶことができました。それは、チームワークとお客様に喜んでもらうこと。もうひとつは、笑顔です(20代 サークル活動 アルバイト)。
- ・ハンドベルは“みんなで演奏するからこそその難しさ”がありました。誰か一人が一生懸命になっても成立しなく、だからこそ各自のモチベーションをどうやって高めるのか。私は、“周りに目を向けること”と“自分自身がこの団体の主体であることをみんなで感じられる”ということ。・新しい環境の中、でいかに周りとの協調しつつ、自分の存在を律していくのか。そのことの大切さをすごく感じる生活なのですが、こういった時の“自分のあるべき姿”というのは、このサークルで経験してきたからこそ、役立っている(20代 サークル活動・授業 四大在籍)。

以上のように感想文数は20に及び、4側面中最も多かった。この結果からみても明らかであるようにハンドベル演奏体験は社会人生活の特に行動的側面への著しい影響を及ぼすと言える。行動的側面では、「協力・協調」、「達成感」、「責任感」、「集団における役割」、「一体感」などがハンドベル演奏体験により培われたと述べていることは注目すべきである。社会人となった卒業生が現在置かれた立場において特に自覚される側面であると思われる。

(3) 記念的側面 在学中の楽しい思い出や記憶として感想文に述べられている例としては次のような例があった。

- ・音符を読むことが苦手だったけれど、先生をはじめ、友だちにも支えてもらい、とても楽しい思い出だと思っています(40代 サークル活動 主婦)。
- ・短期大学時代2年生からの1年間でしたが、とても充実した思い出に残る1年間が過ぎ、かけがえのない友人ともめぐり会えました(40代 サークル活動 保育園勤務)。
- ・プロムナードコンサートに向けて皆で練習出来たことはとても楽しかったです(20代 授業 保育園勤務)。
- ・友人と協力して一つの曲を作り上げる喜びを知りました。音楽経験もなく音符も読めませんでした、演奏した曲には思い出がたくさんつまっています(30代 サークル活動 主婦)。
- ・きれいな音色がとても素敵で、よく部員の子達と「音のシャワーだね」と話していた記憶があります。多くの人と一緒に演奏するのは大変な事もありましたが、今となっては良い思い出です(20代 サークル活動 保育園勤務)。
- ・いろんな場所で演奏でき、たくさんの人に喜んでもらった事が、活動して幸せだったなと感じていました(20代 サークル活動・授業 保育園勤務)。
- ・ハンドベル部では、他の学部の学生との交流ともなり、大学生活が楽しかったと感じられる1つだったと思います(20代 サークル活動 地域活動支援センター勤務)。
- ・現在、ハンドベルを使って演奏したり、指導したりすることはありませんが、自分自身とても良い経験をさせて頂いたなと思っ

- ています (20代 サークル活動・授業 障がい者施設勤務)。
- ・ハンドベルの仲間と今でも交流していて、あのころずっと一緒だったというのは、クラスとは別の思いがあります (20代 サークル活動 施設勤務)。
- ・1つの曲ができあがった時のゾクゾクしたうれしい気持ちは大切な思い出です (20代 サークル活動 その他)。
- ・それまでハンドベルの演奏の経験がなく、自分でできるのかなと思っていましたが、2年間のサークル活動はとても楽しく、良い経験であったと思っています。仲間との音色がつながり、1つの曲が完成していく時はとても感動したのをいまでも思い出します (30代 サークル活動 主婦)。
- ・触れたことのないベルでしたが、鳴らし、サークルのみんなと一つひとつのベルの音が重なりあって、曲がいろんな場所で演奏でき、楽しかったです (20代 サークル活動・授業 保育園勤務)。
- ・演奏に行ったり、仲間とすごしたりした時間はとても充実しており、良い経験をしたなと思っています (30代 サークル活動 主婦)。
- ・うまくいかない時でも支えてくれる仲間がいてくれたおかげで私は楽しかった思い出で一杯です。私はすばらしい仲間と出会うことができ、尊敬できるすてきな先生と過ごすことができた2年間が私にとって最高にしあわせな時であった (40代 サークル活動 幼稚園勤務)。
- ・今でも仲間とのキラキラした思い出と共に耳の奥でハンドベルの音が響きます (40代 サークル活動 主婦)。
- ・色々な所に演奏に行かせてもらって、いい経験をさせてもらえました。とても楽しい思い出です (30代 サークル活動 高齢者生きがいセンター)。

以上のように15の感想文で、楽しかった在学中の活動、演奏体験の感動などの思い出など記念的側面に触れられていた。これらを考察すると、ハンドベルの演奏活動は学内のみならず、日本ハンドベル連盟主催全国ハンドベルフェスティバル、中部ハンドベルフェスティバル出演や岐阜県図書館、岐阜県美術館、岐阜大学病院、名古屋大学病院、テレビ放映、各種施設など学外での演奏活動も多数展開してきたことにより、様々な思い出がつくられたのではないかとうかがえる。

(4) 社会的側面 職場で役に立っている、社会生活で活用しているなどの感想文として次のような例がみられる。

- ・周りの音を聞かなくてはいけないハンドベル。自分自身も音を聞くようになったし、子どもたちにも「ピアノの音をよく聞いてね」と声をかけることができるようになりました (20代 授業 保育園勤務)。
- ・協力すること、音を聴く感じる事の大切さを、子どもたちにも伝えていきたいと思います (20代 サークル活動 幼稚園勤務)。
- ・保護者の方と一緒に演奏する機会があり、自信を持って楽しむことができた (20代 授業 幼稚園勤務)。
- ・保育士になってから園に演奏に来てもらって、子ども達に楽器に触れて楽しむ時間が作ってあげられてよかった。プライベートでも友人の結婚式で演奏して温かい感想をもらった

- り、・・・(30代 サークル活動 保育園勤務)。
- ・保育でも生かす機会もあり、やっていた良かったと思える経験です (30代 サークル活動 幼稚園勤務)。
- ・皆で一緒に一つのを作り上げる大変さや、達成感を味わえたことは、今の保育の仕事にいかされていると思います (20代 授業 保育園勤務)。
- ・児童館の行事でミュージックベルやドレミパイプを小学生、幼児(親子の場合もあり)が演奏する機会がありました (40代 サークル活動 児童館勤務)。
- ・卒業後も自分を含めて8人の友人の結婚式でベルを披露でき、少ない練習の中でも友人と再会してベルを通して集まったことも、ハンドベルをやっていたからこそ縁かなと思います (30代 サークル活動 主婦)。
- ・1つの曲を完成させるため、一体感がありましたし、困っている、悩んでいる子と一緒に悩んで練習して相手を思いやる気持ちも深まりました (20代 サークル活動・授業・ゼミ 社会福祉協議会ことばの教室勤務)。
- ・自分が学生時代に演奏したときも楽しんで参加することができました。そして、保育園で指導する時にも、子ども達にハンドベル(ミュージックベル)の楽しさを伝えたいという思いを持って指導することができよかったです (20代 サークル活動・授業 保育園勤務)。

以上のように、10の感想文では、卒業後も音楽指導体験やハンドベル指導体験に活かされているなど、社会的側面に触れられていた。

以上から社会人生活に及ぼすハンドベル演奏体験の影響について考察すると、音楽的側面以上に、行動的側面、記念的側面、社会的側面の影響が大であると考えられる。ひとりひとりが1音1音担当し、1つの曲を完成するに際し、音と音のつながりは、社会性である、人と人とのつながりに通じているのではないかと考察される。

IV. おわりに

ハンドベル演奏体験が社会人生活におよぼす影響として「他者への配慮」の学びが大きいと言えよう。これは、先行研究で明らかとなった在学中の学生の自己変容と同様である。今後も「他者への配慮」の視点を重要視した授業展開の検討を進めたい。

謝 辞

今回の研究を進めるにあたり、堅田明義先生から、多大なるご指導、ご助言を頂戴した。ここにあらためて、敬意と感謝の意を表する。

文 献

岡田泰子(2014)ハンドベル演奏体験による自己変容について. 中部学院大学・中部学院大学短期大学部研究紀要. 35-40. 2014.

The Effect of Playing Handbells on College Students' Social Lives after Graduation

Yasuko OKADA

Abstract : The study examines how playing handbells at this college impacts students' social lives after graduation. Graduates were given an open-ended questionnaire where they could write freely regarding how they felt about playing handbells during a performance. The results show that the experience significantly influenced various aspects of their social lives, especially in terms of behavior; this can be expressed in terms of “cooperation, and collaboration,” “achievement,” “responsibility,” “a role in a group,” and “togetherness.” The outcomes indicate that the findings from my previous research — which focused on how students' lives changed during college after they played handbells at a performance, and which led them to express a “sense of caring toward others” (and other aspects as well) — continued to have an effect after students graduated. In addition, the questionnaire results revealed that some graduates continued to have opportunities to perform with handbells, and/or to teach their work colleagues how to play them.

Keywords : handbell, musical experience, teaching experience, alumnus, society life after graduation, behavior